

かつては「天井川」として全国的にも有名であった旧草津川。その役割を終えた今なお、草津市を横断する都市の軸として重要な空間であり続けています。2月17日に開催された第3回目のワークショップの前半は、草津川跡地の緑の空間について検討するガーデンワークショップと合同開催をし、互いのこれまでの検討結果を共有しました。後半は市民ワークショップ56名の皆さんとともに、屋外活動実現に向けた市民の役割等について、意見交換を行いました。



プログラム

日時：2013年2月17日(日)

午後3時～5時30分

場所：草津市役所2階特大会議室

参加者：56名

01. 開会
02. ワークショップの経過報告
(ガーデン、市民)
03. テーブルワーク
04. 閉会



01. 開会 (草津市役所 田中政策監)

本日お集まりの市民ワークショップ、ガーデンワークショップ参加者の皆さまには、お互いの検討内容を理解して頂き、さらなる活発な意見交換をして頂きたく思います。草津川跡地の設計は、各ワークショップで頂いた意見を融合させて設計に取り組みます。具体的なデザインは来年度以降、お示していきたいと考えています。



02. ガーデンデザインワークショップ報告 (COM 計画研究所代表 高田昇氏)

ガーデンデザインには、3つのポイントがあります。まずはガーデンの形についてです。癒しや多世代の交流などのキーワードをデザインの基本とします。次が、植物の取り入れ方です。季節感、香りが楽しめる、地域の植生に基いていることが大切な要素です。最後は水の利用。音や触感など水の持つ効果を最大限に活かします。



02. 市民ワークショップ報告 (studio-L 代表 山崎亮氏/醍醐孝典氏)

高田先生は、このプロジェクト当初から関わられておられ、草津川跡地を「ガーデンミュージアム」というコンセプトをまとめてこられました。そして、その緑空間を市民の方が自由に使いこなすための仕組みづくりをするために、声をかけてもらったのが私です。草津市民の皆さんがガーデンワークショップ、市民ワークショップそれぞれで話し合われた結果を、全体の景観、実際の設計に反映して頂くのがE-DESIGNの忽那さんです。今日頂いた意見も忽那さんにお渡しし、デザインに落とし込んで頂きます。(山崎)

1回目の市民ワークショップでは、「草津のまち・草津川跡地の魅力と悩み」という視点から皆さんに意見交換して頂きました。草津市は利便性も高く、大学や企業立地が多く元気な街です。歴史と新しい文化が入り混じっている特徴がわかりました。一方、公園が少なかったりゆっくりできる場所がないなど課題もあり、そのような機能が草津川跡地に求められていることがわかりました。

2回目のワークショップでは、優先整備区間(5)について話し合いました。街中から近いこともあり、既存の観光名所や行事、商業との連携の必要性が検討されました。(醍醐)



自己紹介「農と私」



自分にとって大切なキーワードを一つ書き出します。「農」とそのキーワードを組み合わせて思いついた「取り組んでみたい農の活動」を、同じテーブルのメンバーに紹介しながら自己紹介をしました。農とアート、農と健康、農と癒しなどテーマは様々でした。同じ農でも互いにイメージするもの、大切にしたいことが異なることもわかりました。

03. テーブルワーク①

「農」をテーマとした優先整備区間（浜街道～メロン街道）の使い方、自分たちがしてみたい活動について意見交換をした結果、10のキーワードができました。

「農」をテーマとした優先整備区間（浜街道～メロン街道）の使い方、自分たちがしてみたい活動

（１）体験

- ・ 個人管理の農園
- ・ 共同で農園
- ・ 体験農園
- ・ 貸し農園
- ・ 週末農業
- ・ 就農体験
- ・ 幼児をつれた農体験のない親子向けの体験プログラム
- ・ 近隣の幼稚園、小学校、中学校の体験プログラム(青空教育)
- ・ 家族や親子で土いじり体験をする
- ・ 子どもが体験できる場
- ・ 誰の身長にも合う高さの畑づくり
- ・ 大人や子ども、外国人留学生なども楽しめる農園
- ・ 高齢者も作業ができる農園
- ・ 障害ある人も体験できる農園
- ・ 車いすの利用者でも作業ができるような農園
- ・ 土づくりから行う
- ・ 芋ほりプログラム
- ・ お米づくり
- ・ 一苗オーナー制
- ・ 無農薬野菜づくり
- ・ 農機具を共有できると便利
- ・ 見た目もこだわった絵になる畑
- ・ コメ農家の収穫のお手伝いがしたい
- ・ 草津メロン農家の視察、収穫栽培体験

（２）学び

- ・ 農を通じた食育プログラム
- ・ 子どもが野菜を育てることの大切さや難しさを知る機会づくり
- ・ 親ができた野菜をつかって料理をする機会づくり
- ・ 小学生が環境・郷土のくらしを学ぶ
- ・ 食べ物を大切にする意識づくり
- ・ 家庭菜園教室
- ・ 収穫した野菜で料理教室
- ・ 野菜、植物の種類や育て方を学ぶことができる教室
- ・ 野草の食べ方を教えてほしい
- ・ プロから直接農を学ぶ機会づくり
- ・ 農のプロに育てたモノの美味しい調理法や食べ方を教えてもらうプログラム
- ・ 環境学習
- ・ 環境学習の場、ゴミの堆肥化
- ・ 学校、地域との協働事業

（３）食べる

- ・ 農地のまん中で食べる
- ・ 家族、グループ(友人)で作る
- ・ つくった野菜をその場で調理するプログラム
- ・ 自分の育てた食物を食す嬉しさが味わえる地産地消プログラム
- ・ 食材を栽培した材料で食事を提供するカフェや農園レストラン
- ・ 収穫祭で食べる喜びを分かち合う
- ・ 漬物道場
- ・ ハーブ料理
- ・ かまどご飯体験

（４）つながり

- ・ 人が集い、コミュニケーションが生まれる楽しい空間
- ・ 作物の交換スペース
- ・ 作物の種子をわけあう
- ・ 農家の人に出会い、交流できる場
- ・ 周辺で収穫した野菜の販売所
- ・ 安くおいしい作物を広く市民に提供できるマルシェ、市場のような機能
- ・ 高齢者宅に収穫した野菜を届ける仕組みづくり

(5) 自然

- ・ 生き物とのふれあえるプログラム
- ・ 作物の成長を観察する
- ・ 生きもの観察(魚や水鳥、鳥など)
- ・ 田んぼの虫とり(とんぼ、いなご、かえる、魚など)
- ・ 土の感触、実際に土に触れる
- ・ ビオトープなど生きものに触れたり観察できる空間
- ・ つくしを探すプログラム
- ・ 五感を刺激する空間
- ・ 雄大な自然を眺める
- ・ ゆったりとした農空間
- ・ 比良山、比叡山、琵琶湖の景観を楽しむ

(6) 草津らしさのある農

- ・ 山田大根づくり
- ・ 伝統野菜の復活
- ・ 里いもづくり、芋煮会の開催
- ・ 草津特産品をつくろう
- ・ 郷土料理づくりのプログラム
- ・ 青花広場と染色体験
- ・ 地産物をアピールする
- ・ 草津メロンを発信する(メロン畑や観光農園)

(7) チャレンジ

- ・ 高校生(学生)レストラン
- ・ 田舎(古い家)に泊まる
- ・ ラズベリー、エシャロット園を作ってほしい
- ・ ハーブを育てそれを使って化粧品づくりをする
- ・ 世界の果実栽培にチャレンジ
- ・ 保存食品づくり
- ・ 食材の開発づくり
- ・ 色、かたち等、今までにない野菜づくり

(8) 企画

- ・ 収穫祭
- ・ ご飯の友コンクール
- ・ 食品加工コンクール
- ・ オバケかぼちゃでハロウィンイベント
- ・ 農業を身近に感じさせるイベント
- ・ 農に関する3Dトリックアート
- ・ 水田アート
- ・ どんご運動会
- ・ もみ殻で焼き芋
- ・ 無人販売所めぐり
- ・ 草津メロン VS 守山メロン

(9) 健康

- ・ 歩ける空間
- ・ 土づくり(コンポスト)
- ・ 土いじりを通してストレス解消
- ・ 有機肥料、有機農法
- ・ 無農薬の安心&安全な野菜をつくりたい
- ・ 農薬や過剰な化学肥料無使用の自然尊重的な農業をしたい
- ・ 安全な食料としての作物
- ・ 健康と食をテーマにしたプログラム
- ・ 農体験して青空の下で身を動かすと健康的

(10) 伝承

- ・ 昔の農作業の再現、昔語り
- ・ 未来の「食」のために伝承すべきことを考えるプログラム

03. テーブルワーク②

つぎに、これまで出された「草津川跡地でしてみたい活動」を9テーマにわけ、「自分にできること・大切にしたいこと・市民の役割」について意見交換をしました。

自然・環境

自分にできること

管理

- ・ 草花の世話、草抜き
- ・ 花見をし、帰りに掃除
- ・ 植木等管理ができる
- ・ ポイ捨てできない美しい環境づくり
- ・ 物を大切にする
- ・ パトロールが大切

声かけ

- ・ おさそい・声かけ
- ・ 老人の声を聞く
- ・ 友人を連れて花見にくる
- ・ お手伝い

企画

- ・ 親子で、自然素材とか身近なものを使って環境学習をする
- ・ 手作り、クイズ、実験
- ・ 琵琶湖や川に入って自然にふれながら体験学習
- ・ 大学との連携、デザインの説明、ワークショップ
- ・ 自然体験、環境学習、生き物観察会
- ・ 大学生と一緒に環境教育の為の実践
- ・ 子供たちと一緒に歩きながら花や木の名前を教える
- ・ 子供と触れ合う
- ・ 小学生との農業学習の場

モチベーションづくり

- ・ 環境活動を対外的にもアピール
- ・ お互い表彰してねぎらいあう
- ・ 活動のサポート・市民のスキルをマッチングして活かす

大切にしたいこと

美しい景観

- ・ すばらしい景観
- ・ 多くの人が集まる風景

シンボル、草津ブランド

- ・ アオバナ
- ・ メロン
- ・ 伝統野菜、山田大根
- ・ 草津ブランドを作る
- ・ 勉強会、スキルアップ
- ・ 勉強会やフォーラムを開催して、それぞれがスキルを高める

本来の魅力

- ・ 草津の野菜のおいしさ
- ・ 昔、草津川に生きた生物の再現

顔がみえる関係

- ・ ネームプレート、種類だけでなく管理している人、顔がみえる

子供のために・次世代

- ・ 子供たちの自然体験の場
- ・ 世代を超えた交流を育む

仲間

- ・ 仲間づくり

活動の継続

- ・ 市民の声を聞き、細かなニーズを集める
- ・ 琵琶湖も意識！環境先進県滋賀
- ・ 取り組まれている良いことを盛り上げる、褒める

市民の役割

企画

- ・ イベントに参加する
- ・ 情報発信
- ・ 自然のスケッチ大会と展示会を企画・開催する
- ・ 草津のシンボルとして啓発
- ・ ウォーキングを通じたふれあいの機会づくり
- ・ 環境を学ぶ機会をつくる

人材発掘

- ・ 市民の中で才能のある人を発見する
- ・ 自薦他薦による人材発掘
- ・ レンジャー
- ・ 環境監視コンシェルジュ

市民が先生となるレクチャー

- ・ 環境ボランティアを実践されている方々(団体)からの講座をやってもらう

誇りづくり

- ・ 草津の自然・環境に誇りを持つ
- ・ 市民全体の環境意識改革

自分にできること

情報収集・発信

- ・ 栽培に必要な情報を集め、仲間に伝達する。

農の取り組みへの参加

- ・ 自給自足
- ・ 週に1回2時間の農業活動
- ・ 種子の余りを分ける
- ・ 同窓会の連絡係なので仲間を募ることができる
- ・ ボランティアの人たちを集めること
- ・ 子供たちの面倒を見る
- ・ 草刈り

日常的な管理

- ・ 区間②沿いに住んでいるので、こまめに足を運んで様子を見に行ける。情報発信の役に立てれば。

料理

- ・ バーベキューをする
- ・ 料理の作り方を教えて頂く
- ・ 子供にも大学生にも料理を教えられる
- ・ 安全な作物を希望する高齢者宅に届けること
- ・ ハーブ栽培
- ・ 料理教室(洋食のコックをしている)

支援・指導

- ・ 農業、特に稲づくりの技術の講習
- ・ 食品加工指導
- ・ 耕運機の提供、使い方指導

大切にしたいこと

食について見直す

- ・ 子供への食育
- ・ 食育
- ・ 食べ物を粗末にしないこと
- ・ 食の大切さは生きることにつながります
- ・ 料理の大切さを伝えたい、そして何より、楽しさを伝えたい。

誰もが参加できる農

- ・ 誰の身長にも合う畑づくり、車イスや高齢者も農ができる
- ・ 無理なく続けられる
- ・ 車イスがアクティブに動けることを伝えられる

日常的な管理

- ・ 雑草等管理を十分にする
- ・ “農”をおこなう時の器具の共有や情報の共有などの「シェア」

新しい農のイメージづくり

- ・ 「農」をカッコよく！先輩の方がやることだとか、変な格好しないとイケないとかマイナスイメージが多いが、カッコよく「農」をしたい
- ・ 子供に農を身近に感じさせてあげたい
- ・ 農家や市民の交流の機会
- ・ 近江らしさ
- ・ 土にふれること

市民の役割

野菜の購入

- ・ 草津でとれたお米や野菜をたくさん食べる
- ・ 野菜等販売されたら購入する

イベント企画

- ・ 収穫祭×Facebook
- ・ 農と旅行を組み合わせたプログラムづくり
- ・ 楽しんで参加する
- ・ なんでも参加がいいですね
- ・ 積極的に関わろうとする姿勢(ある程度、方向性を明確にした方が魅力が伝わるのでは?)
- ・ 多く参加して取り組みを継続する
- ・ 色んな人に足を運んでもらえるような空間づくり

草津の「農」を考える

- ・ 地元への関心をもつ
- ・ 草津市民全体で農を支える場が必要

日常的な管理

- ・ 共有する農機具のメンテナンス

自分にできること

イベント企画

- ・ ガイド協会の仲間には、玉すだれ、銭太鼓、手品、オカリナ、ハーモニカ等出来る者がいるので、楽しませることができる
- ・ フォトコンテスト、桜、川の景色
- ・ 写真展のイベント企画、運営
- ・ 観光案内
- ・ ボランティアガイドで観光案内ができる
- ・ イベント集客
- ・ イベント後の効果測定

おもてなし

- ・ あいさつ、道案内

情報発信

- ・ SNS(facebook,twitter)で、草津の歴史を伝える
- ・ 観光イベントの情報発信 (facebook など)
- ・ 新聞をつくる
- ・ 活動発表プログラム、歴史、お店などまちなかの魅力の発信
- ・ フェイスブックなどでの情報発信

歴史・文化

- ・ 草津川渡しの再発に取り組んでおり看板を建てた経験がある

大切にしたいこと

イベント企画

- ・ 近くに住んでいる人も訪れたいくなる魅力的な観光地の演出
- ・ また訪れたいというピーターの視点を持つ

情報発信

- ・ 草津市民以外の方に広く伝える
- ・ 草津川跡地だけでなく、まちなかの情報や魅力を一緒に発信する
- ・ 情報更新の頻度

歴史・文化

- ・ 草津独特の文化・歴史に焦点を絞る
- ・ 京都に負けない観光地を目指す
- ・ 学生街なので人力車が走れる道にする
- ・ 歴史的に天井川として有名なので、その景観を残したい
- ・ 「草津本陣」も通って観光地とする
- ・ 古いものと新しいものの融合

おもてなし

- ・ 初めて来た人へのおもてなしの心
- ・ 積極的に取り組む
- ・ 継続していくこと
- ・ 観光客にお金を使ってもらうこと
- ・ はじめから完璧をめざさず、ゆっくりおもてなしのあり方を探る
- ・ マナーの向上

楽しむ心

- ・ 一緒に楽しむ
- ・ 自分自身が楽しむ
- ・ 誇りを持って活動できる

市民の役割

交流

- ・ 物々交換広場を開催し、草津市民と観光客で物を交換をする

観光案内

- ・ 子どもたちに草津の魅力を調べてもらい、その発表を観光の一部にする

情報発信

- ・ 最近ブログを始めたので、情報発信の仕方を市民から教えてほしい

歴史・文化

- ・ 文化の継承
- ・ 歴史を大切に継承する
- ・ 東海道と中山道の分岐点を皆様に知って頂く
- ・ チームをつくって具体的に進める

おもてなし

- ・ ボランティアとして参加
- ・ 外部の人をオープンに受け入れる

必要なもの

- ・ まちなかの案内、サイン

自分にできること

自分の趣味・活動の披露

- ・ 人間アートで人を驚かせたい
- ・ パフォーマンスがしたい
- ・ 小さいステージ(ライブ会場)、音楽祭

自分のしてみたいことの企画化

- ・ 日曜市を開催させたい
- ・ 昔(歴史)をゆっくり聴きたい
- ・ 野外映画を観たい
- ・ みんなで歌いたい
- ・ 動物好きなので、たくさんの動物とふれあう
- ・ 草津川跡地でゴエモン風呂、ドラム缶風呂に入りたい
- ・ ギネスに挑戦
- ・ コンテスト
- ・ 海外の人と意見交換したい
- ・ 子供がやってみたいと思うことを大人がやる

管理を楽しむ

- ・ 植樹、管理
- ・ 掃除チーム(定期的な庭園のゴミ拾いなどの実施)

お手伝い

- ・ イベントサポーター
- ・ ファンクラブをつくる
- ・ 人を巻き込んでイベント企画(色々な人を繋げる役をやりたい)
- ・ 無駄となるものを活用利用
- ・ 何かと何かをつなげる
- ・ 様々な分野の人達が集まり活動する場

情報発信

- ・ 情報発信をして、人々に楽しさを伝える

大切にしたいこと

居心地の良さ

- ・ 居心地のよさ、やすらぎ
- ・ 誰でもファンクラブ
- ・ だれでも参加できる気配り

ルールづくり

- ・ 思い切り活動できるような、コンセプトやルールの設定

関心を促す仕組み

- ・ 関心をもって参加すれば何かうまれる

多世代に楽しんでもらう

- ・ やっていることを色々な人に宣伝する子供から、高齢者まで、障害のある人も一緒に楽しみたい

市民の役割

プレイヤー

- ・ 市民活動団体や趣味サークルなど、跡施設を舞台にプログラムを実演するプレイヤー

サポーター

- ・ プログラムの調整や実演をお手伝いするサポーター
- ・ 清掃をメインとしたクリーンサポーター
- ・ 子どもが運営に関わるキッズサポーター

コーディネーター

- ・ プログラムの調整役
- ・ 近隣学校との交流の機会づくり

アーカイブチーム

- ・ 草津川跡地での取り組みをすべて記録する
- ・ 分析、意味づけ、整理

レポーター

- ・ 子ども目線で草津川跡地の取り組みを伝える子どもレポーター

誘いチーム

- ・ 宣伝役
- ・ 呼びかけ役

日常的な管理

- ・ 経費削減をゲームにする(草刈コンテスト)

商業・まちなか

自分にできること

街なかと跡地をつなぐ

- ・ 道路前や路地をめぐる途中でくつろげる空間づくり

まちなかのイベントとの連動企画

- ・ 商店街購入したものを食べる(跡地で食べる)
- ・ ピクニック

街なかに足を運ぶ

- ・ 街なかに関する情報提供
- ・ 街なかで買い物
- ・ 買い物は可能な限り、街なかで購入する

その他

- ・ 空き店舗の紹介

大切にしたいこと

交流の場づくり

- ・ 誰でも、何時でも気軽に立ちよれる憩いの場所の確保
- ・ 地域の縁側、井戸端会議の場所、交流の場
- ・ お金を払うことなく、休める、楽しめる場所、しかけをつくる
- ・ 子供と大人のふれあい、昔の遊び、昔のおもちゃ

移動手段、シャトルバス

- ・ 観光客に草津川の全部を見てもらう

情報発信

- ・ 既存の商店と情報共有や連動

市民の役割

情報発信

- ・ 住民だから知っていることや分かる事の情報提供
- ・ ブログなどを使った魅力的なお店の紹介
- ・ 草津市の PR
- ・ 草津川に興味がない方が来るようになるためのきっかけづくり

交流の場づくり

- ・ ベンチ等の手入れ
- ・ 商店を出している人がくつろげる空間の草むしり等管理
- ・ 美化活動
- ・ 出店

移動店舗

- ・ バザー、100円ショップ
- ・ セカンドハウス、ガーデン等、草津で商業する人が出店する

歴史・文化

自分にできること

ガイド役

- ・ 歴史好きでガイド協会にいます。案内や説明が出来ます。
- ・ ツアー企画、講演会企画

イベント企画

- ・ 天井川の形成の歴史を伝えるイベント
- ・ 草津に残る行事の再現

調査

- ・ 何が歴史・文化として大切か調査
- ・ 歴史を知り、受け継ぐ

歴史・文化継承

- ・ まず、歴史文化をもっと知る

情報発信

- ・ 情報発信、フェイスブックなど
- ・ 防災対策

大切にしたいこと

歴史を守る

- ・ 草津の歴史を子供に伝える
- ・ 街道文化
- ・ 草津のアイデンティティー
- ・ 広重浮世絵にある中山道の渡し

天井川

- ・ 天井川のイメージを残す
- ・ 天井川としての事実を伝えていく

自然

- ・ 自然景観
- ・ 草津川に生きていた生物の再現
- ・ 旧街道、旧草津川跡地の桜並木

新たな魅力の発掘

- ・ 単に歴史・文化を守るだけでなく、人が来る町にしたい(特に若い層)

市民の役割

ガイド役

- ・ 歴史散策ガイドツアー
- ・ 歴史を知り、受け継ぐ

地元の歴史を知る

- ・ 地元への関心をもつ
- ・ 地域を知る
- ・ 草津の歴史を子どもに伝える
- ・ マンポ・トンネルを残し、子どもたちに伝えてほしい

環境を美しく保つ

- ・ ゴミを捨てない、景観を汚さない
- ・ 周辺環境の維持、清掃活動
- ・ 景観を保つ、ポイ捨てなどの防止

その他

- ・ 跡地を草津のシンボルにする
- ・ 不便を少し我慢すること

防災

自分にできること

防災意識の維持・向上

- ・ 消防活動をつづける
- ・ 自治会のイベントに参加する
- ・ 自主防組織の設立
- ・ ハザードマップの作成
- ・ 防災プログラムの提案
- ・ 避難シミュレーションの実施

情報発信・共有

- ・ 普段の情報発信(訓練情報など)
- ・ 広報活動(紙媒体、Web サイト)
- ・ 繋がりを作ってつたえること

資格・技能を活かす

- ・ 2級ボイラ技士
- ・ 避難時間の解析
- ・ サバイバルスキル講習
- ・ 旧草津跡地を防災的にどうすればもっと活用できるか教える

大切にしたいこと

日常的な防災意識

- ・ 体力維持の増進
- ・ 向こう三軒、両隣の関係を築く
- ・ 楽しみながら防災を学ぶ意識
- ・ 防災一辺倒にならないこと、活用の中に防災を組むこと
- ・ 防災マップ作り、人づくり、防災意識づくりなど、実際に着手していく

誰もが使える防災拠点づくり

- ・ 誰もが防災の場所として活用できる様にする
- ・ 老若男女が使える拠点づくり
- ・ 備蓄ができるオープンスペース
- ・ 車イスで上げられる道や広場

市民の役割

防災意識の維持・向上

- ・ 訓練などを楽しく参加する
- ・ 炊き出し訓練
- ・ バケツリレー、競走
- ・ 参加する、学ぶ、実行する
- ・ 防災意識を持ち続ける
- ・ 防災のためにほんの少し我慢する

日常的な備え

- ・ いざとなった時の自分のために物品をそなえていく
- ・ 手入れをしておく
- ・ 家、地域を物理的に強くする

イベント・行事

自分にできること

企画・運営

- ・ 企画のつくり方、やり方、草津川の使い方のワークショップ
- ・ 花火大会、盆踊りなど、市民行事の舞台づくり
- ・ イベント実行委員会への参加
- ・ 本陣を活かした新たなイベント
- ・ 宿場まつりの手伝い
- ・ イベント後の効果測定と改善
- ・ 参加者の募集
- ・ ボランティアの人々を集める事

情報発信

- ・ 情報発信、レポーター
- ・ 当日の案内
- ・ マスコミが取り上げやすい話題性のある情報発信

大切にしたいこと

既存の行事を活かす

- ・ 既存の行事の連携、新しい取り組みへの挑戦

多世代に喜んでらえる企画づくり

- ・ 子供、女性、高齢者、障害者などの人々の安全が確保されること
- ・ 気軽に参加しやすいイベント会議
- ・ 自発的に、世代を超えて楽しめる企画づくり

多様な関わり

- ・ 参加を強制されないこと
- ・ 多様な人々の参加

運営体制

- ・ 雨天・荒天時の判断の責任を一元化する
- ・ 連絡体制の確立

市民の役割

企画・調整

- ・ イベントの継続(草津まちあかり)
- ・ 既存のイベントの繋ぎ役
- ・ 大小問わず企画や結果を情報として蓄積する

参加

- ・ 参加すること
- ・ 地域にかかわること(町内会、老人会、子ども会、NPO、ボランティアなど)
- ・ 自分に課された役割は、真面目にこなすこと

演出

- ・ 植物のメンテナンス

自分にできること

教える

- ・ スポーツ、多目的広場で指導ができる
- ・ 練習所がない学生にグラウンド提供、フットサルを教える

草津川跡地で健康管理

- ・ グループで楽しむアイデアを提供する
- ・ 緑を楽しみながらマラソン
- ・ ランニング、ウォーキング(ウォーキングしながらパトロール)
- ・ 仲間とサイクリング
- ・ ベビーカーでたのしめる散歩
- ・ ジョギング教室
- ・ 広さを活かしたスポーツ
- ・ スポーツ球技大会

情報発信

- ・ 途中で見つけた良いところをつぶやく

大切にしたいこと

参加の自由度

- ・ たまたま訪れてプログラムに参加できる、偶然性
- ・ 誰でも参加出来ること

安全性

- ・ 安心、安全

子ども

- ・ 子どもが集まれること
- ・ 自由に遊べる、使える芝生広場(使い方を限定されない)

楽しむ気持ち

- ・ スポーツ、運動を楽しむ

対話

- ・ 対話を大切にしたい
- ・ スポーツを通じた対話

継続性

- ・ 継続的に続ける
- ・ イベントを途切れることなく、多く開催できるようにする

市民の役割

つながりづくり

- ・ 人と人とのつながりの拡大
- ・ 入り口を大きく、参加しやすいような環境づくり

安全の確保

- ・ 巡回パトロール(ウォーキングしながらパトロール)

主体的な関わり

- ・ 集まった時間のボランティア
- ・ 給水所、コース案内
- ・ 積極的に参加する

情報発信

- ・ 情報発信、集約
- ・ 活動する時間の情報発信

グループづくり

- ・ スポーツ、運動のグループづくり

今年度のワークショップはこれで終わりです。最後に記念撮影をしました。

